

第34回「^{かずのう}數納賞」公募要領

主催 財団法人児童健全育成推進財団
後援 厚生労働省

< 數納賞 >

「數納賞」は、児童健全育成に関する優れた実践報告に対し褒章を行うものです。

この賞は、朝日生命厚生事業団が故數納清氏（当時 朝日生命会長）の寄付金を基金として制定し、昭和51年から毎年実施されてきたものです。当該事業団の解散に伴い、第29回（平成16年度）より、児童健全育成推進財団がこの事業を継承することになりました。

1. 対象 児童の健全育成に関し、児童福祉施設（児童館、児童養護施設等）、地域組織（母親クラブ、子ども会等）、家庭相談員、里親等の活動の具体的実践報告。
2. 審査基準 活動の先駆性、普及性、社会的効果性
地域（地域住民、各施設、行政など）との連携状況
自己の活動への客観的検証
文章構成における論理性
実践記録としての価値
3. 応募について **400字詰原稿用紙換算で本文28～30枚 - 厳守**
ワープロソフト使用の場合は、A4判縦長・横書（1^レヅ 32字×25行）
手書き原稿は、A4判縦長原稿用紙・横書、黒インクか黒ボールペン使用
報告原稿には、表紙（題名・氏名^{フリガナ}・住所・年齢・職業・連絡先の電話番号を明記）を別途添付
締切 **平成21年11月30日(月)**
提出先 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1 こどもの城10階
(財)児童健全育成推進財団 數納賞 係
電話 03-3486-5141
応募上の注意 ・応募原稿はお返しいたしません。
・既に他団体の企画に応募したいいわゆる重複論文等は応募できません。
・執筆にあたりプライバシーには充分留意下さい。
・ワープロソフト使用の場合は、メール添付による提出も可。
(fpsgc@jidoukan.or.jp)
4. 入賞発表 平成22年2月中旬
5. 授賞 數納賞1編、同佳作4編。ただし、該当するものがなく見合わせる場合があります。
入賞者には賞状と賞金（數納賞30万円、同佳作各5万円）を贈ります。
なお、佳作に準ずると評価された報告には、選外ながら特に「奨励賞」を設け、賞状と賞金（3万円）を贈ります。
6. 発表 入賞報告は日本児童学会誌『児童研究』に掲載いたします。
7. 審査 審査委員、運営委員をそれぞれ委嘱し、運営委員の予備審査を経て、審査委員が審査する。

【裏面もご覧ください】

8. 審査委員・運営委員（敬称略）

審査委員	齋藤 晴美	厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課 児童環境づくり専門官
	橋本 英洋	日本医科大学 客員教授
	望月 重信	明治学院大学 教授
	吉澤 英子	大正大学 名誉教授
	酒井 英明	(財)こども未来財団 理事長
	小林 和弘	(社福)全国社会福祉協議会 副会長
	高城義太郎	(財)児童健全育成推進財団 理事長、 鎌倉女子大学 特任教授、日本児童学会 会長
運営委員	上林 靖子	中央大学 教授
	廣瀬 英子	上智大学 准教授
	野中 賢治	岩手県立いわて子どもの森 運営委員、 鎌倉女子大学 非常勤講師
	中川 一良	(社)京都市児童館学童連盟 常務理事・統括監、 聖和短期大学 非常勤講師
	鈴木 一光	(財)児童健全育成推進財団 常務理事、 上智社会福祉専門学校 非常勤講師
	興津 哲哉	(財)児童健全育成推進財団 理事、 鎌倉女子大学 非常勤講師

第32回（平成19年度）入賞者実践報告（敬称略）

数納賞	（該当作品なし）		
佳作	「子どもたちの安全・地域安全」活動から協働への一歩一歩 地域と行政のコーディネーター役としてのNPO 北海道苫小牧市 NPO法人 イクスローラー北海道	代表理事	佐藤 一美
佳作	子育て支援でまちづくり（連携と協働の実践報告） 北海道白老町 NPO法人お助けネット	代表	中谷 通恵
佳作	「児童会館の新しいプログラムの可能性」 - 札幌市栄西児童会館における自主制作映画の実践報告 - 札幌市東区 札幌市栄西児童会館	館長	安田 行宏
佳作	長久手町平成こども塾の設立と今後の展開について 和歌山県九度山町 公務員		沖 義裕
佳作	地域との有機的な連携を実現する地域組織活動（母親クラブ）の可能性 ～児童遊園を実現させた児童育成・万代クラブの活動を中心に～ 新潟県新潟市 児童育成・万代クラブ 安全・公園グループリーダー		丸山 健一
奨励賞	“OPEN THE HEART , OPEN THE HOME” ～家庭をなくした子どもたちに、安らぎの場を～ 福岡市早良区 福岡市こども総合相談センター	相談員	木村 百枝

第33回（平成20年度）入賞者実践報告（敬称略）

数納賞	こころの手をつなごう！ ～中標津町から不幸な子どもはつくりたくない・つくりせない～ 北海道中標津町 中標津町役場子育て支援室			高松絵里子
数納賞	小規模多機能児童館の可能性 ～独自事業から公的事業への展開-高学年の障害のある児童の居場所づくりの実践報告～ 京都市上京区 社会福祉法人 西陣会 西陣児童館 児童厚生員			小西 秀和
上記2編はともに「数納賞」受賞の水準に達しており、審査の結果、甲乙つけがたく審査委員一致で2編の受賞となりました。				
佳作	子どもおとなもホットする居場所をめざして ～個人立児童館の8年間の実践～ 群馬県藤岡市 NPO法人三波川ふるさと児童館「あそびの学校」			代表理事・館長 山崎 茂
佳作	中高生プロジェクト タイムトライの取り組み 東京都足立区 足立区立西保木間児童館 職員（児童指導）			安部 孝子
奨励賞	明るい未来を信じて 沖縄県南城市 単立つきしろゴスペル教会 牧師			砂川 竜一